

# 多摩区内小学校



## 第4回 登戸小学校

明治6年に善立寺内に開校し、今年で創立145周年、多摩区で最も歴史の長い小学校の一つである登戸小学校。

卒業生は13,948名にのぼり、現在は1学年3クラス、680名の児童が通っています。第20代校長の高津原(こうつはら)校長は、登戸の子は素朴で人懐っこい素直な子が多いとの印象を受けるそうです。

グラウンドには、登戸小学校のシンボルでもあるスプレストと呼ばれる大きなすべり台があり、先生から遊び方を教わった2年生以上のみが遊べます。

4年生からは、打楽器(大太鼓・小太鼓・コンガ・ドラムなど)と金管楽器(トランペット・トロンボーン・チューバ・アルトホルンなど)で構成されるスクールバンドに参加することができ、およそ半数にあたる150名が在籍し、毎朝8時から25分間練習しています。そして、町会や登戸まちなか



遊縁地といった地元の行事に数多く出演してきました。

学習方針については、特に思いやりを重視し、子ども達がお互いに挨拶すること、そして改修工事で綺麗になった校舎をより綺麗に使うことを心がけています。

また、歴史の長さ按比例して地域との繋がりも深く、梨園での受粉から収穫までの実習をはじめ、野菜の苗の育成、多摩川音頭の習得などを地元の方々と一緒に行なっています。また、安全感謝の集いと題して、パトロールでお世話になっている町内会・老人会・ボランティア・PTAの方々をお招きして、お礼と出し物を行う集会を行っています。このような経験を通じて、人との触れ合いを大切にしたい徳育に励んでいる学校です。(文:加藤)



多摩区まちづくり協議会は、区民の自主的なまちづくり活動組織です。区民が取り組む地域活動を、年4回発行でお知らせしています。

# 私たちのまちづくり

## 多摩区まちづくり協議会 NEWS

2018年  
(平成30年)6月

祝  
60  
号



多摩の風景

冒険心あふれる

## 「多摩川エコ☆カップいかだ下り」



8月4日(土)10:00~13:00 二ヶ領せせらぎ館側の多摩川で、「第11回多摩川エコ☆カップいかだ下り」が開催されます。(小雨決行、荒天中止)

「5歳以上 18歳未満の子どもを必ず含むこと」が参加条件で、大人と子どもの混成チームが、思い思いの工夫を凝らした手作りのいかだを漕ぎ、豪快に川を下ります。昨年は23艇98名が参加しました。

参加チームは、6月30日(土)に船の構造や作り方、水の安全講習受講と、「川流れ」を実際に体験し、川の流れの強さや深さ、流れる方向などを体感して当日を迎えます。安全管理責任者として「レスキュー3」の認定者が指導をし、宿河原堰下から県立多摩高等学校裏河川敷までの約1キロの川の安全確保に務めています。

ペットボトルや発泡スチロールなどを材料にし、オールの代わりに竹ぼうきを使ういかだなど、観るだけでも大変楽しめます。今年は、どんないかだが登場するのでしょうか?

ご家族連れで、あるいはカメラ片手に、「多摩川エコ☆カップいかだ下り」を観戦しに行きましょう! ※いかだは、河川敷で解体して資源ゴミに分別、収集車に回収してもらいます。

【主催】NPO 法人多摩川エコミュージアム  
【問合せ】二ヶ領せせらぎ館 (電話 044-900-8386)  
【記事: 古川 写真提供: NPO 法人多摩川エコミュージアム】



### 【協力スタッフ】

「多摩川エコ☆カップいかだ下り」には、多くの協力スタッフがいます。県立向の岡工業高校放送部の皆さんは、司会・進行を担当しています。専修大学、日本女子大学の皆さんは運営スタッフとして協力しています。

## 多摩区の明日に向かって 第5回 五反田川放水路整備事業

五反田川は、麻生区細山内を源とし、読売ランド前駅近くを経て小田急線に沿って蛇行しながら流下し、向ヶ丘遊園駅近くで二ヶ領本川に合流する流路延長約4.8km、流域面積8.0km<sup>2</sup>の都市河川です。この川は、洪水時には、下流まで約20分で流下する高低差の著しい河川です。このため、五反田川の下流部及び二ヶ領本川との合流部では、急激な水位上昇により、度重なる水害を繰り返してきました。

五反田川放水路は、洪水時には五反田川の洪水全量(150m<sup>3</sup>/s)を市立東生田小学校隣で延長2,025m(直径8.70m、深さ38~47m)の地下トンネルに流入させ、直接多摩川へ放流させるものです。トンネル工事については、「シールド工法」で行いました。この工法の特徴は、「シールドマシン」と呼ばれるトンネル掘削機を地中で掘進させ、トンネルを築造するものです。

当事業は、2023年度完成を目指して多摩区の中心部、小田急線や津久井道に沿って行われています。出入口を除き、工事はみなさまの目に触れることなく進んでおり、完成後は、多摩区中心部洪水のおそれは大幅に減ることでしょう。見学会も行っているそうですので、参加してみるのがよいでしょう。(文:児井、藤田)



トンネル掘削機「シールドマシン」



施工中の分流立坑

このシリーズでは、現在多摩区内で進行中、または進行予定のプロジェクトを随時取り上げて行く予定です。

編集後記

多摩区は緑豊かな丘陵地や大小の河川など川崎市の中でも特に自然に恵まれています。一方自然災害にも注意が必要です。まちづくり協議会は皆様の生活に役立つさまざまな情報を今後もお伝えして行きたいと思っています。(児井)

多摩区まちづくり協議会へのご意見、ご質問、プロジェクトへの参加申し込みはこちらへお願いします。

【事務局】〒214-8570  
多摩区役所地域振興課まちづくり推進係  
電話 935-3148 FAX 935-3391  
メール 71tisin@city.kawasaki.jp  
ホームページ http://tamaku-machikyoo.com/

